

**私たちの施設は、「福祉サービス第三者評価」を活用して、利用者サービス向上のために常に努力しています。**

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園		施設番号	41-0015
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成19年度)	改善計画 (平成19年度末時点)	実施状況 (平成20年10月1日時点)	
生活空間の環境整備について	<p>快適な生活環境の提供は極めて重要な課題と考えており、平成18・19年度と外壁ヒビ改修工事・屋上防水工事と外装の整備を行ってまいりました。今後は内装部分及び臭気対策等利用者に直接関係する生活環境の整備が急務と考えております。</p>	<p>○臭気対策として公共下水道への接続、換気・吸気対策、19年度末に実施した全面防水加工をしたトイレの検証。 ○利用者意向に沿った居室環境の改善の検討としてモデルルームの設置。 ○快適な食事を提供するための食堂の改修。 ○車椅子の方が快適に過ごせるよう入口等の改修。 ○管理者による定期的な安全点検の実施。</p>	<p>○臭気対策として行った、公共下水道の工事や、トイレの防水工事を行った結果、良くはなったが、検証した結果、排水溝からの匂いが上がってきたため、毎日水を入れるなど対策を講じた結果、ほとんど臭気がなくなった。 ○車いす対策として入口の改修や、玄関の改修工事、トイレの改修等を行った。 ○管理者による定期的な安全点検を行い、常に改修が必要なところを検証している。</p>	
作業環境改善を目指した継続的な取り組みについて	<p>リサイクル作業の環境は作業的に臭気や衛生的にも劣悪になりやすい環境にあるため、環境整備（アスファルト工事等）や、手洗い・消毒・作業着の着用等に気をつけてまいりました。また、作業中のケガ等についてもリスクマネジメント委員会などで検討をしてきましたが、環境整備及び事故防止等まだまだ改善が必要と考えております。</p>	<p>○老朽化した作業棟の改修（防水、塗装等の工事） ○昨年から引き続きリサイクル作業の環境整備のため、飲み残し等が床や壁に染みまず、すぐに清掃できるような改修工事。 ○保健所等からも情報を受けながら定期的に清掃・消毒・防虫等を実施。 ○季節にあった作業着（カッパ、エプロン等）の提供。 ○補助金等の申込をしながら、危険性のある工程のオートメーション化（機械導入）の検討。</p>	<p>○作業棟の防水、塗装等の工事を実施し、すぐに清掃できるような改修を行った。 ○日本財団の助成金をいただき、リサイクル機械を導入しオートメーション化を行った。 ○定期的に清掃、消毒を実施。</p>	
利用者工賃倍増に向けた事業展開について	<p>平成17年9月より製パン作業、平成18年7月よりリサイクル作業を開始し、常に事業拡大、販路拡大に努めてまいりました。また、より多くの利用者が関わられるよう、作業を細分化したりと試行錯誤をして実施し利用者の70%以上がリサイクル作業に従事しております。平成19年10月より新制度に移行し、就労継続支援B型事業・生活介護事業を実施し、一定の工賃の支給を行っております。工賃支給日を楽しみにしている利用者も多く、厚生労働省が示す「工賃倍増5ヵ年計画」にそって、B型事業の収益力の強化が必要と考えております。</p>	<p>○リサイクル作業については、補助金等の申込をしながら、機械のオートメーション化を検討。また、キャップ・ラベルがし等より高単価で出荷できる量を増やすよう、工程も含めて検討。 ○製パン作業については、原料高騰により4月より販売単価の値上げを実施。また、販路拡大も引き続き行っていく。 ○利用者の選択肢を広げるため、調理パンの製造ができるよう保健所の許可をとり、消費者ニーズに対応するようパンの種類を増やすためパン工房の増築も実施済みです。また、継続的・安定的に事業を実施していくためにもリサイクル、製パン作業に次ぐ、新事業展開の検討を開始する。</p>	<p>○リサイクル事業については、日本財団の助成金を利用し、機械を導入し、オートメーション化を行った。また、夏場に向けて高単価で取引していたが、急激な経済状況の悪化のため、単価が下がっているため、今後、安定的な取引ができる業者との取引を検討していく。 ○製パン、リサイクルに次ぐ作業として、5月にしいたけの原木1200本を購入し、しいたけ作りを本格的に開始した。安定的に販売できるよう、補助金などを利用して、しいたけ乾燥機の購入を検討する。また、新事業展開も検討していく。</p>	

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価（又は利用者に対する調査）の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。